

古都・鎌倉で子とつくるローカルマガジン

TAKE FREE

# ことこと

創刊号  
2023

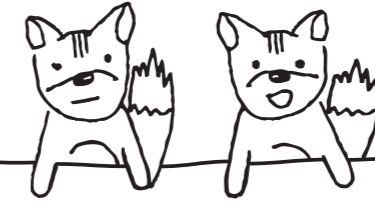


## 特集 わたしたちの好きな鎌倉

わたしのお気に入りの風景 四角 友里さん／三浦 安間さん／宇治 香さん／横山 寛多さん  
鎌倉の未来について話そう 豊島屋社長・久保田 陽彦さん



○にあてはまる6文字は？



					か
					い
					が



【答え】 ○ ○ ○ ○ ○ ○

正解は、かまrusくんが知っているよ。探してみてね！

## ことこと COLOMAGA project 鎌倉市版 Vol.1

【特集】 わたしたちの好きな鎌倉

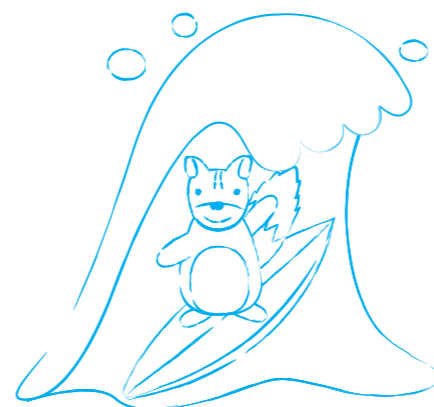
2023年9月発行

発行：ことこと事務局（NPO 法人マナビノキ内）  
〒248-0003 神奈川県鎌倉市浄明寺 5-7-11  
TEL 0467-53-8041 kotokoto.colomaga@gmail.com





- 02 もくじと謎解き
- 03 鎌倉ってこんな街／鎌倉街づくりQ&A
- 05 わたしのお気に入りの風景
- 09 この店のこれが好き！
- 11 鎌倉の未来について話そう
- 13 ことこと創刊号ができるまで
- 15 ことことの極意とは!?
- 17 編集後記



はじめまして。かまりすです!

# ことこと

かまりすくん:  
出身地は台湾。鎌倉の山や街に生息。  
枝から枝へのジャンプが特技。庭の  
果実や家の壁をかじるなど短所も。

鎌倉にゆかりのある小学生・中学生たちが、  
プロの編集・ライター・カメラマン・  
イラストレーター・デザイナーの仕事を選び、  
一緒につくったローカルマガジンが『ことこと』です。  
創刊号のテーマは「わたしたちの好きな鎌倉」。町の人々に取材して、  
鎌倉の魅力を聞き出した「ガイドブック」としても活用できる1冊です。

## 特集 わたしたちの好きな鎌倉



まずは鎌倉にまつわる

### “謎解き”からスタートです!

子どもたちが鎌倉を題材にした謎解きを考えました。  
さあ、あなたは全部の謎が解けるかな!?

問題1: 彩香 作

あ	か	さ	
た	な	は	1131133
ま	や	ら	
	は		

A

問題2: 奏人 作

1 1 13

コケエ

表紙のイラストは、6年生の雫さんが描いた水彩画で、  
材木座海岸から稲村ヶ崎を見た鎌倉らしい風景です。  
ほかにもたくさん表紙候補があったので紹介します。



# めざせ、鎌倉通！ 鎌倉街づくりQ&A

取材：奏人・栗・真緒・六夏



教えてくれた人  
鎌倉市  
都市景観課  
藤本まゆさん

## ことごと編集部 Q1

### 鎌倉には高いビルがないのはなぜ？

**A** 国が景観法をつくる以前から、鎌倉市では独自の条例をつくっていました。今は2008年に指定した「景観地区」内では、建築物の高さは15m以下（約5階建）と決められています。ちなみに鳥居や大仏は歴史的価値のあるものため例外ですよ。



鎌倉市庁舎は4階建て

## ことごと編集部 Q2

### 家を建てるときには樹木を切ったらいけないって聞きました。

**A** 鎌倉市の中でも山や海のそばは自然景観の保全を目的とした「鎌倉市風致地区」に指定されています。このエリアでは植栽の割合が敷地面積の20%以上、できる限り道路面に植栽をするようにお願いしているんです。

## ことごと編集部 Q3

### コンビニの看板も他の街と違うって本当？

**A** 屋外看板については鎌倉市独自の「屋外広告物条例」を制定しているだけでなく、「鎌倉市景観計画」の中で彩度を落とした落ち着いた色を使うように取り決めてあります。「古都鎌倉特定地域」にある小町通りにあるコンビニが茶色なのはその一例ですね。色を変えられない場合には、鮮やかな色の面積を小さくしてもらったり、色を反転して白い部分を多くしてもらうなど、お店の人たちに周辺環境と調和するデザインをお願いしています。

## ことごと編集部 Q4

### 小町通りに電線がないのはなぜ？

**A** 観光客がたくさん歩くエリアの景観をよくするために、電柱や電線の地中化を進めているんです。若宮大路も同様ですので、ぜひ気をつけて見てくださいね。

## ことごと編集部 Q5

### 鎌倉で見かけるおしゃれな洋館はいつの時代のもの？

**A** 鎌倉には古い寺社が多いですが、明治～昭和時代の洋風の建物もたくさん残っているんです。鎌倉市ではそれらの貴重な建物の33件を「景観重要建築物等」と定めて管理したり、保存のための補助金を出したりしています。どれも市民に親しまれて地域のランドマークになっている建物ばかりで鎌倉らしい景観と言えますね。



鎌倉文学館



春と秋に一般公開する旧華頂宮邸



# 鎌倉ってこんな街

鎌倉市は神奈川県南部の三浦半島の付け根に位置し、人口は約17万人(2023年9月現在)、山と海(相模湾)に囲まれた街です。12世紀末に源頼朝によって武家政権が開かれ、政治や文化の中心として栄えた歴史上重要な古都でもあります。今ではその恵まれた自然や名所旧跡・神社仏閣を訪れるために、日本各地からはもちろん世界中からたくさんの方がやってくる観光地でもあり、観光客や鎌倉に暮らす人たちが楽しめる素敵なお店がたくさんあります。このページでは、『ことごと』創刊号で取材したスポットやお店を一足先に地図上でご紹介します。記事とあわせてぜひチェックしてください。また知っている人と鎌倉通になれること間違いなし！の鎌倉の街づくりQ&Aもお楽しみください。

いざかまくら

● P5~8「わたしのお気に入りの風景」で紹介しているスポット  
● P9~P10「この店のこれが好き！」で紹介しているお店





## 鎌倉の海は毎日表情が変わる 生き物なんだよ。

取材：唯央・観野

みうら やすま  
**三浦 安間 さん**  
フォトグラファー

**海**の魅力をこう語るのは、フォトグラファーの三浦安間さん。のどかな雰囲気、漂う海辺の地区、材木座にある海が目の前の家に生まれ、小さな頃から当たり前のように鎌倉の海で遊んで暮らしてきたせいか、最初は鎌倉の海の魅力に気づいていなかったと言います。「じつは今ほど好きだとは思っていませんでした。でも海は毎日表情を変える生き物なんだって気づいてから、どんどん海が好きになったんだ」

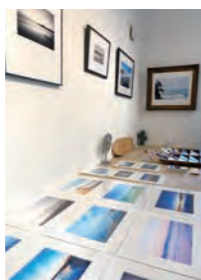
海に虹がかかったり、夕陽がきれいだったり、特に気に入っている海の風景は、季節によって変わる表情だそう。春は大潮の満ち引きがあったり、モヤツとしていることもある。夏には南風が吹いて、暑くて強い感じがする……。そんな四季の中でも、安間さんのおすすめは冬の海。「観光客がたくさんいる夏も賑やかでいいけど、冬の静かで落ち着いている海はとてきれいだよ」



3.取材の最後に、安間さんと波乗りポーズで記念写真！4.安間さんは朝日や夕日などでさまざまな色に変化する海の色を見ることが大好きだそう。この日の海ではサーフィンやウインドサーフィン、釣り、磯遊びなど、みんなが楽しそうに遊んでいました。5.海の写真がたくさんある安間さんのスタジオは、波の音が聞こえてきそうな雰囲気。後ろに飾ってある大きな写真は赤潮のときに撮影したもの。海がピンクになるなんてすごい！

### Profile

14歳で初めてサーフィンをして以来、サーフィンが大好き。波乗りをしながら世界を旅し、海に関するさまざまな写真を撮影している。材木座にあるスタジオは「Seascapegallery kamakura」として写真展なども行う。長谷にある「KAMAKURA SURFRIDERS CLUB」ではサーフィンの先生としても活動。



1.地元の材木座海岸に立つ安間さん。その笑顔から鎌倉の海への愛情が伝わってきます。2.「海の写真を撮るときは、瞬間瞬間の海の表情を逃さないように。いい写真が撮れそうときは走って海に行くんだ」



5

## わたしの お気に入りの風景

鎌倉に暮らす4人のみなさんに、  
鎌倉ならではの気に入りの場所と  
その理由を教えてくださいました。



海や街を見下ろす衣張山山頂。江の島や富士山も望めます。

## 街をハグしているみたいな 鎌倉の山が好き！

取材：皓映・宇

よすみ ゆり  
**四角 友里 さん**  
アウトドアスタイル・  
クリエイター

**山**の本をつくったり、山のリュックや洋服をつくったり、アウトドアスタイル・クリエイターとして活動する四角友里さん。鎌倉の山が大好きで、散歩をするようによく山に登っているそうです。そこでわたしたちは四角さんに鎌倉の山のお気に入りの風景について取材をしました。お話しは四角さんが鎌倉の山の中でも一番好きだという衣張山に登りながら聞きました。

「鎌倉に住んでいる人たちは意外と気づいていないかもしれないけど、普段から海を見たり触れたいられるのは、すごく幸せなこと」と安間さんは感慨深く言います。わたしたちは今回のインタビューでさらに海の魅力に気づき、もっと入りたいなと思っています。



1.名越切通付近には大きな岩がゴロゴロ。2.街で買ったおいしいものを食べるのも山の楽しみのひとつ。「べつばらドーナツ」はフワフワとした食感で大きくていろんな種類があってお気に入り。3.取材中のひとこま。四角さんは山の景色を楽しみながらのんびり歩きます。そんな様子を撮影させてもらいました。4.山頂に向かう途中にあるお猿島の大切岸。鮮やかな黄色の菜の花が咲き誇ってきれい！

### Profile

サンリオ、着物着付け師を経て、アウトドアスタイル・クリエイターに。鎌倉の自然に感動し、鎌倉の山を日々歩いている。鎌倉の山の本やグッズ、オリジナルブランド「MOUNTAIN DAISY PRODUCTS」も手がける。





## 鎌倉の街で生まれ育っていても まだまだ知らない道があります。

取材: 彩香

よこま かんた  
**横山 寛多** さん  
イラストレーター



また、寛多さんは鎌倉の裏道も好きです。裏道が好きな理由は、3つあります。1つ目は、川が少なからず、昔、川の生き物をいろいろ見つけて捕まえていたのが楽しかったから、今でもついで川を覗き込んでしまいたいんです。昔、うなぎを捕まえたこともあるそうです。3つ

**街** はいつも混んでいるので、裏道を駆使して歩くのが特技になったというイラストレーター横山寛多さん。寛多さんは生まれ育った鎌倉の自然が好きです。昔と変わったところもたくさんあるけれど、神社やお寺は変わらないのがよいところ。昔、習いごとが嫌で、時間を潰していたお寺には、今でもたまに息抜きに行くそうです。

目は、道が好きだから。普段歩いている道や、知らない道がまだまだあるからだそうです。寛多さんのイラストは鎌倉の街にたくさんあります。例えば「かかん」の看板や「邦栄堂製麺」のイラストなど、地元の人からも愛されているお店に使われていることが多いです。寛多さんが好きな鎌倉に、寛多さんも好かれています。



1. 人通りの少ないところを選んで歩くのが好き。2. 裏道から繋がる妙本寺の前にて、ことごと編集部の人々と記念撮影。3. 扇川や滑川沿いの道は特に気に入る。小町通りから一本入った線路沿い。



### Profile

鎌倉以外に住んだことのない、鎌倉育ちのイラストレーター。小さい頃から大人に頼まれ弟と一緒に、雑誌の絵を描いていた。現在は、鎌倉の街の中の看板の絵や、雑誌のさし絵や絵本も描いている。鎌倉の自然が好きで、虫や魚などにも詳しい。

『じぶんの話』(作・養老孟司)、『なんだこれは』などの絵本を手がけ、また、『イワタコーヒー』の紙袋や「COBAKABA」などの看板もデザイン。



宇治さんはいつも自分で調べてつくった解説ファイルとホワイトボードで案内してくれます。ツアーの詳細と申し込みは「鎌倉あるものさがし」のHPから。

## 鎌倉幕府という幕府は 実際にはなかったんだよ！

取材: 淡介・真緒・大夏

うじ かおる  
**宇治 香** さん

ソンベカフェ 店主  
鎌倉あるものさがし 主宰



### Profile

鎌倉駅西口近くでエスニック料理の「ソンベカフェ」を経営。また「鎌倉あるものさがし」ツアーでは、明るくおもしろく分かりやすく、鎌倉の知られざる歴史や史跡を案内してくれる。

4. 若宮大路沿いの店は一方通行だった昔の名残で、人が歩く方向に開口が開いています。5. 八幡宮に近づくにつれて道幅が狭くなる段葛。実際に歩数で確認中！6. 小町通り1つ目の四つ角にある欄干。本来は川がある場所が暗渠(川に蓋をしている)になっています。



**歴** 史的な石碑や建物が多く残る鎌倉。そんな鎌倉が大好きで、「鎌倉あるものさがし(地元学)」を主宰する宇治香さんは、鎌倉の大切なこと、大事な場所意外に知られていないことを伝える活動をしています。そこで宇治さんおすすめの鎌倉の歴史について案内してもらいました。

「鎌倉にあった幕府をみんなは『鎌倉幕府』と呼ぶけれど、鎌倉幕府というのは実在しなかったんだよ！」と宇治さん。実際の名称は大蔵幕府、宇津宮辻子幕府、若宮大路幕府で、今ではこの3つを鎌倉幕府と総称しています。

さらに、「普段みんなが何気なく歩いている段葛は、源頼朝が工夫した街並みのひとつなんだ」と

案内は続きます。遠近法を使っただけで、敵が攻めてきたときに道を長く見せる仕掛けをしていたり、配色にもこだわりがあるそう。段葛の灰色の道、鶴岡八幡宮の真つ赤な本堂、その背後にある御谷の森の緑、そして青く澄んだ空。わたしが通学で使う道や目にする景色にたくさんさんの想いが込められていると分かり、興味深く思いました。

「少し歩くだけでも、鎌倉の街には石碑があちらこちらにあるのに気づいたよね。僕のツアーの参加者も、意外と身近にあつて驚いた！という人が多いんだ」

鎌倉を歩いて歴史を詳しく知ると、もっと鎌倉が好きになれるはず。みなさんもぜひ宇治さんのツアーに参加してみてください。





# コクリコ

菱倉千穂さん



**珊瑚礁** スペアリブ、ガーリックポテト

おいしくてなつかしい味。両親と子どもの頃から行っており、思い出の味。

**鳥一** 手羽中など鳥肉全般、コロッケ

素朴で飽きのこないおいしさ。母がよく買ってきてくれた慣れ親しんだ味。

**PHO RASCAL** チキンのフォー

すごくおいしい。丹精を込めて作っているところが好き。



**ひしくら・ちほ**

両親がはじめたお店は、おかげさまで50周年を迎えることができました。私自身は25年前くらいから動きはじめ、継ぐこととなりました。たくさんのお客様にご来店いただき、「おいしかった!」の笑顔のおかげで毎日続けることができております。

# 写真家

長野陽一さん



**イワタコーヒー店** エクレア、フルーツサンド

いつもコーヒーとエクレアを注文しますが、ちょっと贅沢したいときはフルーツサンドを。エクレアは硬めの生地とほどよい甘さのカスタードの相性がよく、チョコレートのパリパリ感は感動。写真映えるので、光がきれいな庭に近い窓際の席に座るのがオススメ。

**コクリコ 御成通り店** クレープ (ツナキュური、マーマレード)

ちょっと小腹が空いたとき、またはデザートが食べたくなったときについつい立ち寄ってしまいます。食事にもなるツナキュურიとシンプルなマーマレードが私の定番。味覚が幼いのでいつか大人のクレープをオーダーしてみよう!と思っていてもいつまでできません。

**カフェ ロンディーノ** スパゲッティツナマト、自家製プリン

昔ながらの喫茶店。決まってトマトソースのスパゲッティを食べた後にコーヒーとプリンを注文します。スパゲッティにはこれでもか!と粉チーズをたくさんかけるのが好き。プリンは固めで甘すぎずコーヒーによく合いますよ。プリンはすぐに売り切れるので先に頼んでおくべし。



**ながの・よういち**

写真家。福岡県出身です。鎌倉に住んで13年。美術と音楽が好きで雑誌や広告などで写真を撮りながら写真作品も作っています。趣味はスキーと食べることです。

# 邦栄堂製麺

関 康さん



**カフェ・ヴィヴモン・ディモンシュ** コーヒー豆

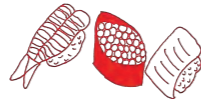
コーヒー豆をよく買いに行きます。そこにいつもいて、毎日変わらずにコーヒーを淹れてる店主の堀内隆志さんの姿が好きです。

**盛華園 (観音寺)** 湯麺、炒飯

邦栄堂製麺の麺と餃子の皮を使ってくれています。そして今の店主が先代の味とスタイルをちゃんと引き継いで、守ってるところが好きです。店の雰囲気も好きだし、もちろん味も最高です。

**登茂系寿司** お刺身の盛り合わせ、握り寿司

気軽に何を入れて何を食べてもおいしい。大将をはじめ、お店の方々の人柄も好きです。僕が好きなのはビール。の銘柄があって、それをInstagramで知ってくれて、わざわざそのビールを用意してくれたことがあって感激しました。



**せき・やすし**

1953年に創業して、私で3代目。たくさんの人に支えていただき、今年で70年になりました。これからも、いろいろな方に支えてもらいながら100年をめざして頑張っていきたいと思っています。

# STOVE

石川隼さん



**香菜軒 寓** カレー

ご夫婦経営のカレーのお店。旦那さんがカレーを仕込み、奥様が副菜を丁寧に仕込む、お肉を使っていないお料理を楽しめます。毎年変化していく店舗の内装を、勝手に「材木座のサグラダファミリア」と呼んでいます。

**鎌倉 燻製食堂 燻太** 刺身の燻製

店主の濱田さんが丁寧に燻製した魚介類やお肉を楽しめる小さなお店。自宅の1階を店舗にしており、ご夫婦で出してくださる料理はとってもおいしいです。ほかでは味わえない魚の燻製をぜひ食べてみてください。

**山本餃子** 焼き餃子

店主の山本さんがひとつずつ丁寧に手作りする無化調の餃子を食べられるカウンターだけの小さなお店です。味もお店も山本さんの人柄が溢れており、食べながらコミュニケーションをし、楽しい時間が過ごせるます。



**いしかわ・じゅん**

家具や内装のデザイン・設計をしています。お店では世界中の製品や作家さんの作品など愛着をもてるモノを扱っています。とりあえずではなく、つかうたびに笑顔になれるようなモノを。ぜひ遊びにいらしてください。

# もんざ丸前田水産

前田航平さん



**土手長** 冷したぬきそば

自家製そばは二八で打っていて、とてもコシがあつてうまい。店主が幼馴染みなのでよく行きます。

**中華料理はぶか** 四川風ソバ

辛いものが食べたくなったとき、季節に関係なくおいしいから好きです。出前もしてくれるので、仕事中の昼食によく利用しています。

**ALOHA CUBE** オリジナルビーチサンダル

店の近所にあるハワイアンカフェで子どもの頃から通ってます。ごはんやドリンクはもちろん、シャツや帽子などの物販もあり、とくにサンダルはデザインがかわいくてお気に入りです。



**まえだ・こうへい**

材木座でしらすの販売店をやっています。生しらすや釜揚げしらす、タタミワシ等のしらす商品のほか、地タコやひじき等も取り扱っています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

# バナバサ

井伊乃士さん



**コクリコ 御成通り店** クレープ (ゴータチーズアンチョビオリーブ)

小腹が減ったときのお気に入り。

**GARDEN HOUSE** モーニング

朝、愛犬クロと一緒にテラスで食事ができるのが気持ちいい!

**SEEDLESS BAR** ハンバーガー

海を見ながら食べるバーガーとビールは最高。



**いい・だいし**

御成商店街にあるクラフトビール屋です。地元鎌倉や海外の小さな醸造所のビールを中心に100種類ほどを取り扱っています。店内のギャラリースペースでは月替わりで展示をしたり、ヨガやトレッキングなどのイベントも開催しているので、ぜひみんなで遊びにきてください。



鎌倉には楽しい場所やおいしいお店がたくさんあります。そこで、地元で愛されているお店のオーナーの方々や、鎌倉のガイドブックを手がける写真家さんに教わりました。ズバリ、「この店のこれが好き!」



# DAILY by LONG TRACK FOODS

馬詰佳香さん



**CHIC FLOWER STAND** 花束、オリジナルのルームスプレー

オーナーの方が作ってくださる花束が、店名通りいつもシックで大好きです。家にはいつも花を飾ります。季節の花を買いに行くとき、大切な方に花を贈りたいときに立ち寄ります。

**SAUCE THE CORNER** 日替わりのお惣菜やお弁当

4月にオープンした鎌倉市農協連即売所内にある小さな食品店。手作りのお惣菜や調味料が揃っていて、ごはんの時間がおいしく楽しくなります。第3木曜日の「はなの日」に届く太巻きやお団子も楽しみのひとつです。

**23** タコス3種

シェフからお料理の説明を聞いていると、食べる前からおいしいのが伝わってきてワクワクします。タコスはもちろん、ほかのお料理もどれもおいしくて、居心地のいいお店です。(店名の23は、私が1番好きな数字でした)



**うまづめ・かこ**

鎌倉市農協連即売所内にあるホームメイドにこだわった小さなデリカテッセンDAILY by LONG TRACK FOODSを友人と営んでいます(日々、由比ヶ浜の工房でピクルスやディップなどのお惣菜を作っています)。





©鎌倉市観光協会

3つの海水浴場の名称は久保田社長の英断で未来に引き継がれることに。また、「未来の鎌倉は子どもがつくる」と保育園づくりにも関わっていらっしゃいます。

ことこと 2013年に鎌倉の海水浴場の命名権が鎌倉市から売りに出されたとき、豊島屋さんが購入したおかげで由比が浜海水浴場など元の正式名称が守られました。なぜ命名権を買ったのですか？  
**久保田社長** 単純に、昔から親しまれている元の名前を変えたくなかったからです。例えば、どこかの企業が名前を買ったら、そこで売れるものをその企業のものだけにすると決めたりもできてしまいます。もし一回でもそういうことが起きてしまうと、どんどん命名権の値段も上がりますし、違う名前になってしまいます。わたしはそういう海の商品価値自体をなくしたかったです。  
**ことこと** 未来の鎌倉のために考えを買ったんですね！

### 海の命名権を買ったのは鎌倉の自然を商品にしないため



本店のみ販売するオリジナルグッズ「鳩コレクション」。第1号の根付「鳩三郎」をはじめ、ユニークな品々はすべて社長企画。完成までは社員のみならず内緒なんだって！

ことこと 久保田社長は生まれも育ちも会社も鎌倉ですが、これから鎌倉はどんな街になったらいいなと思いますか？  
**久保田社長** 鎌倉に住む人、鎌倉で働く人、鎌倉に来る人、みんなが楽しく笑顔になれる街にしたいです。「笑う門には福来たる」って言いますよね？故郷としても働く街としても観光地としても、みんながいろいろ言うのは難しいですが、自分だけじゃなく相手のことも考えて楽しいってみんなが思える街になるのがいいと思います。  
**ことこと** なるほど。もって鎌倉が好きって気持ちが湧いてくる気がします！  
**久保田社長** 豊島屋も、例えば修学旅行で鎌倉に来て、たんに土産の品物を買って行くだけじゃなくて、家に帰ってから家族にお土産話ができるような店でありたいと思っています。本店にある鳩のグッズも、豊島屋と

ことこと 久保田社長は生まれも育ちも会社も鎌倉ですが、これから鎌倉はどんな街になったらいいなと思いますか？

**久保田社長** スタジアムや新しい構造物はいいですが、鎌倉の自然に由来するようなものは商品ではなく鎌倉のみんなのものです。だから変えずに守らなくちゃいけないと思います。

### わたしたちの好きな鎌倉をみんなが笑顔になる街に！

ことこと 久保田社長は生まれも育ちも会社も鎌倉ですが、これから鎌倉はどんな街になったらいいなと思いますか？

**久保田社長** 鎌倉に住む人、鎌倉で働く人、鎌倉に来る人、みんなが楽しく笑顔になれる街にしたいです。「笑う門には福来たる」って言いますよね？故郷としても働く街としても観光地としても、みんながいろいろ言うのは難しいですが、自分だけじゃなく相手のことも考えて楽しいってみんなが思える街になるのがいいと思います。

みんなが笑顔になる鎌倉がいいですね！



### Profile

1894年創業の(株)豊島屋 代表取締役社長。本店のある小町で生まれ育ち、銀行勤務の後豊島屋に入社。菓子製造工場や本店店長を経て、2008年に現職に就任。おいしいお菓子と文房具やおもちゃが大好きな少年の心をもつ魅力いっぱいのアイデアマン。子どもの頃は妙本寺の池でザリガニ釣りをしたり、今は愛犬との裏路地散歩が楽しみ。創業時から掲げる「名産地」の看板の前で。

### 取材を終えて

久保田社長は鎌倉を「みんなが楽しくて笑顔あふれる街」にするために海の命名権を買ったり、待機児童問題に協力しているそうです。「普通にしていたらこうなった」と言うけれど、鎌倉がどうしたらよくなるかをいつも考えて積極的に取り組んでいて、すごいなと思いました。取材の最後に、「子どもたちにはいろんなものを見て学んでたくさん経験をさせて、魅力のある人になってほしい」と言っていました。わたしたちは大人になるまでの約10年間、いろんな経験や失敗をして、鎌倉を笑顔いっぱいの街にできる人になりたいなと思いました。

豊島屋 久保田陽彦社長 × ことこと編集部



## 鎌倉の未来について話そう

鎌倉で活躍するみなさんの「好き」を取材してきた今回の創刊号。特集のトリを飾ってくださるのは、みんなが大好きな鳩サブレの豊島屋 久保田陽彦社長です。鎌倉が誇るお菓子をつくるだけでなく、未来の鎌倉のために尽力される久保田社長にインタビューしてきました。

取材：彩香・唯央・皓映

## 鳩サブレ



### 鳩サブレも鎌倉の街も、守りながら進化していくことが大切

ことこと 編集部（以下、ことこと） 豊島屋さんには鳩サブレやおいしいお菓子がたくさんあります。わたしたちはみんな鳩サブレが大好きです！

**久保田社長** ありがとうございます。鎌倉にある和菓子屋として、豊島屋は「鎌倉を語るお菓子」をつくっていきたくと思っています。

ことこと だから「段葛」「若宮大路」のような鎌倉の地名がついた和菓子もあるんですね。鳩サブレも鶴岡八幡宮の鳩が由来と聞きました。

**久保田社長** そうなんです。でも何が鎌倉らしいかと言うのは難しいですし、時代ごとによって変わって



最初は緊張したけれど、久保田社長の楽しいお話に引き込まれて、取材の終わりにはみんな社長の大ファンになりました！

くものですから、今と君たちが大人になる頃とは違うし、その先もどんどん変わっていくます。ですから同じものを守っていくだけでは古くなりますし、守りながらも進化していかなきゃいけない。どこを変えてどこを守っていくかを判断するのは難しいですが。

ことこと 鳩サブレは明治時代から味や形が変わっていないんですか？

**久保田社長** そうなんです。でも、鳩サブレはまだまだおいしくなるとわたしは思っていますので、そのためにどうすればいいかを日々考えています。それはお菓子屋として当たり前の姿勢です。わたしの代では変わらず守っていきたいですが、さっきも言ったように、この先は変えなきゃいけないときもきつと出てくると思います。よりおいしいお菓子を目指して、がんばっていかなくちゃいけない。

ことこと 守りながら進化していくって、とても難しそうなんです。**久保田社長** わたしは同じことが鎌倉の街にも言えると思います。「古い建物を守りましょう」と言いますが、本当に守っていくだけでいいのでしょうか。もう少し進化させたほうが、みんなが暮らしやすくなることもありますからね。

ことこと 守りながら進化していくって、とても難しそうなんです。**久保田社長** わたしは同じことが鎌倉の街にも言えると思います。「古い建物を守りましょう」と言いますが、本当に守っていくだけでいいのでしょうか。もう少し進化させたほうが、みんなが暮らしやすくなることもありますからね。



社長もかつて10数年、工場で焼いていたという鳩サブレ。バターと卵のシンプルな味わいが子どもから大人まで大人気の鎌倉銘菓。かわいいデザイン缶は、鎌倉の家なら必ず1個は小物入れなどとして再利用しているのは鎌倉あるある！



みんなを楽しませたいという社長の遊び心は本店の非常口にも。赤い目が警光灯！みんなは気がついてた？



# ことこと 創刊号 できるまで

『ことこと』は鎌倉市の小学生・中学生とプロクリエイターでつくっているローカルマガジンです。ここでは、『ことこと』ができるまでを紹介します！

## 1 オリエンテーション



顔合わせと自己紹介。これから1年かけて、子どもと大人みんなで協力して『ことこと』をつくっていくぞ！エイエイオー！



## 2 ワークショップ 【編集・町田 雄二さん】



雑誌のつくり方についてのワークショップ。「ページをめくると何が出てくるのかワクワクする！」そんな気持ちで雑誌づくりをしよう！

## 3 編集会議 【特集を決めよう!!】



鎌倉のおもしろいところを出し合いながら、どんな特集にするかをみんなで話し合います。海や山、歴史、お店……鎌倉には、たくさんの魅力があるなあ。

## 4 ワークショップ 【ライター・吉田 直子さん】



インタビューからその内容を記事にするまでを実演形式で！取材は楽しく！読んだ人がその場にいるかのように感じる文章を書こう！

## 5 ワークショップ 【写真・長野 陽一さん】



実際にプロのカメラマンが撮った写真を見せてもらいながら、写真だけでも情報を伝えることができることを知った。何を伝えたいのか、考えて撮ることが大切！



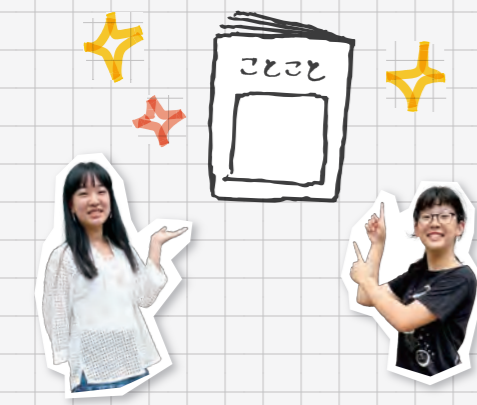
どうしようかな...



たのしくなってきた!!

## ついに完成!

『ことこと』完成!!  
できたてホヤホヤの雑誌を手に、  
完成発表会を開催。  
読者の反応が楽しみ!



## 14 校了・印刷

文字とデザインの直しが終了。  
無事に『ことこと』ができることを  
折って印刷を依頼します。刷り  
上がるまでドキドキ!!

きれいに  
仕上がりますように!!



## 13 校正



取材した方々に校正を依頼し  
つ、みんなでゲラのチェックを  
します。何度読み直しても赤字が  
出てくるのはなぜ!?無事に校了でき  
ますように!!

## 8 編集会議 【ページ構成を考えよう】



特集ページについての話し合い。  
どんな構成がいいか?どこに取  
材に行こうか?みんなで何度も  
編集会議を重ねます。



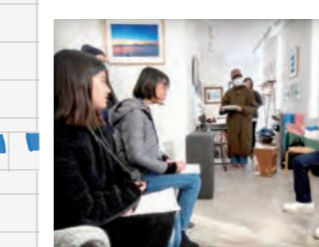
いってきます!

## 12 デザイン・原稿づくり



子ども編集部が書いたラフを元に  
大人編集部がページを組んでいき  
ます。そのデザインを見ながら、子  
どもたちは文章やイラスト、タイ  
トル文字など素材を準備。

## 9 取材をしよう!



取材スタート!質問内容を決め  
ていったはずなのに、いざ、インタ  
ビューとなるとドキドキ!相手  
と自然に対話するように、聞きたい  
ことを聞きだす!

## 10 ラフをつくろう!



実際にどんなページになるかをイ  
メージしていくのがラフ。ラフの  
書き方を教わりながら、自分たち  
が取材した担当ページのラフを作  
成。難しい~。



なやむ~!

## 11 ワークショップ 【謎解き・かげたろーさん】



謎解きを入れたら読んでくれる人  
がもっと楽しんでくれるかも!?  
鎌倉を知ってもらうための謎解き  
をみんなでつくろう!



ひびめいた!!





# 「ことごと」の極意とは？

現場で生まれたリアルな声を「極意」としてまとめました。

楽しい取材は  
あいさつから！



「よろしくお  
願いします」  
「おはようご  
ざいます」な  
どあいさつ  
は、元気にし  
よう。「あり  
がとうござ  
いました」も  
忘れずに！  
あいさつで、  
楽しい取材  
にしよう。  
(小6 雫)

取材は焦るな！**会話**を楽しめ！

取材に緊張はつきもの。聞き  
たいことは、会話を楽しみな  
がら、自然に話していれば、思  
いがけずよい話が聞けること  
もあるぞ！  
(小6 彩香)



大切を守るべし！



大切を守るこ  
とは大事！そ  
の時間の中  
で、どれだけ  
いいものをつ  
くれるかが勝  
負だ！  
(小6 歌野)

くじけない！へこたれない！



時には失敗だってある。  
仲間に迷惑をかけること  
もある。反省はしろ。ただ  
し、くじけるな！へこた  
れるな！  
(中1 皓映)

イラストは  
分かりやすく！



イラストは  
1本線で迷  
いなく。イ  
メージを形  
にし、写真  
を超えたイ  
ラストに!!  
(中2 連)

取材は**チームワーク**！



取材のときは「インタビュース  
人」「メモをする人」「写真を撮る人」  
などチームワークが必要！チーム  
ワークで最高のページをつくれ！  
(小6 真緒)

大切な言葉は  
その場でメモしろ！



覚えていると  
思っているも  
意外と忘れる  
ぞ！大切な言  
葉はその場で  
そのままメモ  
するべし！  
(小6 六夏)

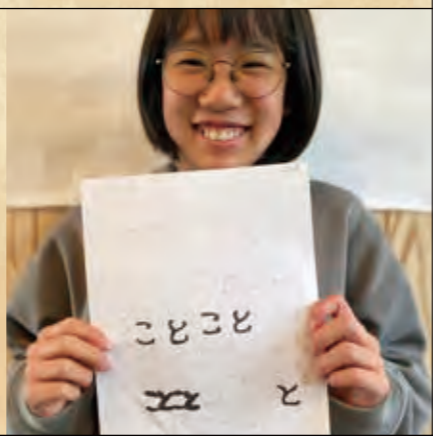
文を書くときは  
**文字数**に気をつけろ！

文字数に気をつけて、文の組み  
立てをしないと、後々修正が大  
変になる。最初から文字数に気  
をつけて書け！  
(中2 奏人)

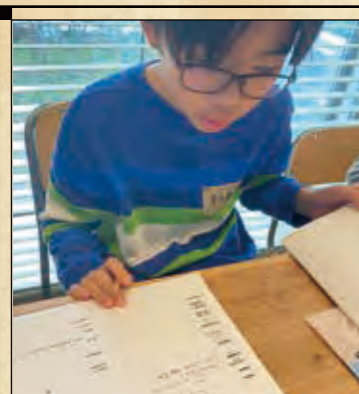


**初心**忘るべからず

ページをめくると何が出てくる  
のかとワクワクするのが雑誌。  
迷ったときは、初心に戻り、読み  
手と同じワクワクした気持ちをも  
って取り組め！  
(小6 唯央)



自分が書いた文は  
何度も読み直せ！



知らない人が読  
んだとしても伝  
わる文章なのか！  
自分で何度も読  
み直せ！相手の  
気持ちになって  
書くべし。  
(小6 湊介)



### Point 1

#### 子どもたちが自分のまちを取材し冊子を作る。

『COLOMAGA(コロマガ)』は、こどもローカルマガジンの略。子どもたちとプロのクリエイターが自分の“まち”を取材し、ローカルマガジン(地域情報誌)と一緒に作る非営利の活動です。現在、東京都、静岡県、山梨県、長野県などの1都2府5県14エリアが企画し、地域を超えた交流も行っていきます!

### Point 2

#### 見て聞いて感じたことをプロに学び、創造する。

自分たちが住む“まち”をもっと知るために、実際に足を運んで子どもたちが取材をします。プロのクリエイターに素材づくりのノウハウを教わりながら、写真を撮ったり、イラストを描いたり、文章を書いたりして、目で見て聞いて感じたことをカタチにしています。みんなの集めた情報をプロが冊子にまとめて完成です!

### Point 3

#### 子どもも大人も地域を知り繋がるきっかけに!

子どもたちが世代を超えて出会う人々と交わすコミュニケーションは、かけがえのない思い出や体験。“まち”の魅力を知れば知るほど好きになり、自分の居場所になっていく。“まち”のために何ができるだろうと考える人がひとりでも多く育てて欲しい。『COLOMAGA Project』はその想いで活動しています。



私たちの活動は、SDGsの「No.4-質の高い教育をみんなに」「No.11-住み続けられるまちづくりを」を実現する実践者として、ESD-I(持続可能な開発のための教育)の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞・子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」にて受賞いたしました。

### 各地域で続々とコロマガ活動エリアが拡大中!!



創刊号の発行を目指して、進行中エリア!  
静岡県富士宮市、静岡県富士市、静岡県三島市、大阪府南部、広島県広島市、東京都品川区 など



各地域のメンバー紹介  
バックナンバー読めます!

### 企業・団体・個人さまとのコラボ募集中!!

立ち上げ・応援・視察・講演・コラボなど、コロマガはさまざまなカタチで参加することができます。詳しくは公式サイトよりお問い合わせください。



#### 【協賛募集中】

『ことこと』を応援してくださるサポートパートナー(団体・個人)を募集中です。支援金は『ことこと』の制作費に充てさせていただきます。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【協賛口数】 団体サポーター: 10,000円 / 個人サポーター: 3,000円  
【申込方法】 申込フォームにご記入の上、お振り込みください。  
一口より随時お申し込みいただけます。

【協賛特典】 ①冊子へのロゴ掲載(任意) ②完成冊子のプレゼントなど  
【お問い合わせ】 kotokoto.colomaga@gmail.com

#### 【申し込みフォーム】



2022年10月  
SITE OPEN!!



COLOMAGA Project  
公式ウェブサイト

### ことこと 編集部 創刊号メンバー

みんなが取材で見つけた鎌倉の「好き」を教えてください!

#### 子ども編集部



そうすけ  
湊介  
小学1年

いちか  
唯央  
小学6年

りくか  
六夏  
小学6年

まお  
真緒  
小学6年

うたの  
歌野  
小学6年

あやか  
彩香  
小学6年

かなと  
奏人  
中学2年

れん  
連  
中学2年

こうえい  
皓映  
中学1年

しずく  
零  
小学6年

#### 大人編集部

坂元 良弘 ブランディングディレクター	鈴木 志野 エディター/ライター	吉田 直子 エディター/ライター	末原 絵美 ことこと事務局 プロデューサー	永倉 麻記子 ことこと事務局
阿部 洋介 デザイナー	土門 如央 デザイナー	正本 彩 デザイナー	島津 波果 ことこと事務局	清嶋 紗也佳 ことこと事務局

### あとかき

鎌倉『ことこと』創刊号、ついにできあがりしました。子ども編集部も大人編集部も初めてという今回の一冊。わたし自身も雑誌編集は未経験という中、大人クリエイターのみなさんの本気の仕事力、そして子どもたちのアイデアとやる気、忍耐力!?!に支えられ、今、こうして完成したこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の創刊号の特集は「わたしたちの好きな鎌倉」。「鎌倉の魅力に住む人や訪れる人に伝えたい!」という思いのもと、さまざまな方に取材協力いただきました。講師の方々やそのほか協力いただいたみなさんの力も合わさった一冊です。「20ページの冊子をつくるのがこんなにも大変だとは思わなかった!」というのが今の正直な思いです。世の雑誌の見方が180°変わりました。経験に勝る学びはないですね。

学び多き『ことこと』。次号に向け、引き続き、コトコトとつくっていきましょう。

ことこと事務局プロデューサー 末原 絵美

### Special Thanks!!

ワークショップ講師

- 町田 雄二さん / 編集者 マガジンハウス『POPEYE』編集長
- 長野 陽一さん / 写真家
- 横山 寛多さん / イラストレーター
- かげたろーさん / 謎解きクリエイター

COLOMAGA project 鎌倉市版  
ことこと Vol.1  
2023年9月発行

発行: ことこと事務局  
(NPO 法人マナビノキ内)  
〒248-0003  
神奈川県鎌倉市浄明寺 5-7-11  
TEL 0467-53-8041  
kotokoto.colomaga@gmail.com



題字: 彩香/表紙イラスト: 零/裏表紙謎解き: 唯央/かまきすくイラスト: 皓映